



特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会
2016 年度 事業報告

2016 年は、熊本・大分で発生した大規模な地震をはじめ、全国各地で災害が発生し、いまだ復興途上である東日本大震災の被災地への支援とともに、多くのボランティアとボランティアコーディネーターたちが被災地の復旧・復興支援に取り組んだ。JVCA としては、4 月の地震のあとに、災害支援にあたるボランティアコーディネーターへ留意条項を伝えるために、「熊本県、大分県における地震災害のボランティアコーディネーションに携わるみなさまへ」と題したメッセージを WEB サイトに発信し、Facebook でも拡散した。

ここ数年は 2014 年に策定した「第 3 期中期ビジョン（2014-2018）」に沿って事業を進めているが、当初の計画（目標）が順調に進んでいる部分と、なかなか着手しきれない部分がある。今年度を終了した時点でその成果を振り返り、次年度は中間の見直しに取りかかることになる。目標値を概ね達成している主な項目としては【ボランティアコーディネーション力 3 級検定受験者の確保】【講師派遣受託件数】【顧客データベースの再構築】【グッドプラクティス事例集の発行】である。一方、計画より遅れを取っている項目としては【認定ボランティアコーディネーターシステムの開発】【ボランティアコーディネーター実務研修の体系化】【地域と学校をつなぐボランティアコーディネーションに関する研修プログラムの提案】【災害時のボランティアコーディネーションの検証】である。

以下、2016 年度の重点事業についての成果を簡単に振り返り、この 1 年の個別事業実施状況を報告する。

重点 1 講師派遣事業を拡大するための働きかけを強化し、派遣先団体の分野や研修内容を広げる

年度後半から講師派遣のご案内、研修メニュー、講師リストを活用した PR の反応が徐々に出てきた。WEB サイトの情報を見ての問い合わせが複数あり、新たな派遣につながった。県域以外の市町村域、小地域の団体からの依頼、対象では市民リーダー向け講座の依頼も増えてきたのが特徴である。

重点 2 ボランティアコーディネーション力検定の各級の受験者を拡大し、社会への浸透を図る

3 級検定の受験者は目標の 600 人を超えた。共催団体については目標の 10 か所には届かなかったが 9 か所の団体とのコラボレーションができ、主催検定では伺えない地域の方々の受験が促進された。1 級・2 級については定員を割ったが、3 級合格者の多い福岡県で 2 級検定を開催できたことは成果である。

重点 3 職務としてのボランティアコーディネーションの質を高めるために、実務研修の体系を整備する

ボランティアコーディネーターの実務者研修の体系化をめざして研修開発委員会がその任にあたったが、中堅やベテラン層向けの研修の方向性について意見交換を行い、研修に必要な要素を挙げるにとどまった。引き続き次年度の事業計画に組み込む。

推進体制 組織・財政基盤の強化のためのインフラ整備

全国ボランティアコーディネーター研究集会 2017（福岡・大野城）に対して赤い羽根福祉基金の助成を受けることができた。事務局体制ではスタッフの採用・配置が計画通りに進まず、結果的に支出（人件費）は減少したが、事業の推進体制としては課題が多い 1 年であった。

■ 1 事業の推進

(1) 全国ボランティアコーディネーター研究集会の開催

①「全国ボランティアコーディネーター研究集会2016横浜」の開催及び評価

横浜市社会福祉協議会との共催により、横浜市内において全国ボランティアコーディネーター研究集会（JVCC）2016を開催した。プログラムの企画・立案については神奈川県および近隣のボランティアコーディネーション実践者で構成する実行委員会が行った。

（実行委員長：仲丸 等氏）

テーマ：ヨコにつながる ところにハマる～未来を拓くコーディネーション

期 日：2016年 3月5日（土）～6日（日）

会 場：福祉保健研修交流センターウイリング横浜

分科会：23分科会

参加者：197人

実行委員：38人

運営ボランティア：22人

講師・事例報告者等：51人

（実行委員との重複あり）



実行委員会開催状況

回	期 日	会 場	参加人数
第10回	1月11日（月・祝）	横浜市社会福祉協議会	25人
第11回	1月31日（日）	横浜市鶴見区社会福祉協議会	19人
第12回	2月28日（日）	横浜市中区社会福祉協議会	30人
第13回	3月21日（月・祝）	横浜市社会福祉協議会	23人

②「全国ボランティアコーディネーター研究集会2017」（開催地：福岡県大野城市）の準備

大野城市社会福祉協議会との協力で大野城市内において全国ボランティアコーディネーター研究集会（JVCC）2017を開催することが決定した。

プログラムの企画・立案については福岡県内を中心としたボランティアコーディネーション実践者で構成

する実行委員会を設置し、会議を開催している。第3回実行委員会では、本会正会員である小谷広幸氏（大野城市社会福祉協議会 常務理事・事務局長）を実行委員長に、加留部貴行氏（JVCA 理事・九州大学）を副実行委員長に選任した。

11月上旬には例年よりも早くプログラムを確定させ、開催要項とチラシを完成させた。同時に専用WEBサイトを立ち上げ、全国各地の関係者へのPRを一斉に開始した。

実行委員会開催状況

回	期 日	会 場	参加人数
準備会	4月11日（月）	大野城市総合福祉センター	6人
第1回	4月24日（日）	大野城市総合福祉センター	17人
第2回	5月15日（日）	あいれふ（福岡市）	20人
第3回	6月5日（日）	大野城市総合福祉センター	17人
第4回	6月19日（日）	大野城市総合福祉センター	20人
第5回	7月24日（日）	大野城市総合福祉センター	27人
第6回	8月11日（祝・木）	大野城市総合福祉センター	33人
第7回	9月22日（祝・木）	大野城市総合福祉センター	29人
第8回	10月2日（日）	大野城市総合福祉センター	27人
第9回	10月16日（日）	大野城市総合福祉センター	24人
第10回	10月23日（日）	大野城市総合福祉センター	27人
第11回	11月23日（祝）	大野城市総合福祉センター	29人
第12回	12月18日（日）	大野城市総合福祉センター	29人

（2）研修の開催および研修企画の支援

①ボランティアコーディネーションカ1級検定直前研修の開催 1回・1カ所（大阪）

（3）に記載

②ボランティアコーディネーションカ2級検定直前研修の開催 2回・3カ所（東京・大阪・福岡）

（3）に記載

③ボランティアコーディネーションカ3級検定直前研修の開催 2回・5カ所

（3）に記載

④ボランティアコーディネーションカ3級検定直前研修の共催 9回

（3）に記載

⑤各種研修セミナーの開催

・初任者向け：ボランティアコーディネーター基礎研修 2回（大阪・東京）

タイトル	期日・会場	講師	参加者
ボランティアコーディネーター基礎研修 (第42期 ボランティアコーディネーター 養成講座)	7月9日(土) エル大阪	石井祐理子 岩本 裕子 南 多恵子 岡村こず恵	44人
ボランティアコーディネーター基礎研修	7月11日(木) ルーテル市ヶ谷センター (東京)	唐木理恵子 倉本 泰孝 後藤麻理子	43人

・実践者向け：ボランティアコーディネーター実務研修（基礎）
2回の開催を計画したが実務体制が整わず実施できなかった。

・実践者向け：ボランティアコーディネーター実務研修（応用）
業務改善のための実務研修として、テーマを絞り込んだ少人数制の研修を企画し、会員および2級以上の検定合格者を中心に周知し、開催した。

タイトル	期日・会場	講師	参加者
ボランティアコーディネーター実務者研修 「対話」を通じて問題解決の糸口を探す テーマ：ボランティアの高齢化と向き合う	12月6日(火) 北とぴあ(東京)	加留部貴行	10人

⑥研修への講師派遣と講座等の企画支援

・研修への講師派遣を希望する団体に対し、開催の目的やねらい、テーマ等を調整したうえで、JVCAの理事・役員等を派遣した。

派遣99件 研修日数122日 / 派遣講師21人(実人数)

・新たな講師派遣先を開拓するために、都道府県・政令指定都市社会福祉協議会や都道府県行政の研修担当ならびに市民協働担当の部署などに「講師派遣・紹介のご案内」チラシを配布した。

・また、講師派遣事業拡大のために「講師派遣・紹介のご案内」、研修メニュー、講師リストをWEBサイトに掲載した。

⑦東日本大震災・被災地の復興に向けたコーディネーション力の強化と人材育成

・福島県市町村社会福祉協議会生活支援相談員等に対する研修企画・実施への協力
新任の生活支援相談員等研修への講師派遣を行った。

・若者たちで明日の福島をつなぐプロジェクトへの講師派遣を行った。

(3) ボランティアコーディネーション力検定の実施、認定システムの開発

①ボランティアコーディネーション力 1 級検定試験の実施 1 回

本年度第 1 回（通算第 5 回）ボランティアコーディネーション力 1 級検定の直前研修を開催するとともに、別日程で 1 級検定試験を東京と大阪の 2 会場で実施した。

開催地・会場	期 日	講 師	受験者
<第 1 回> 大阪研修センター江坂	9 月 10 日（土） ～9 月 11 日（日） 直前研修	筒井のり子、早瀬 昇、 岩井 俊宗、長谷部 治	16 人
【東京】 飯田橋セントラルプラザ	9 月 25 日（日） 試験	<試験監督> 小原 宗一、疋田 恵子、 岩井 俊宗、永井 美佳、 垂井加寿恵、竹田 純子	6 人
【大阪】 大阪府社会福祉会館			10 人

<第 1 回（通算第 5 回） 1 級検定 試験結果>

受験者数	16 人	合格者数	7 人	合格率	43.8%
------	------	------	-----	-----	-------

②ボランティアコーディネーション力 2 級検定試験の実施 2 回・2 カ所

開催地・会場	期 日	講 師	受験者
<第 1 回> 通算 13 回 大阪会場 大阪ボランティア協会	8 月 27 日（土） ～8 月 28 日（日） 直前研修 & 検定試験	早瀬 昇 後藤麻理子 筒井のり子 栗木 梨衣	37 人
<第 2 回> 通算 14 回 東京会場 貸会議室・内海	10 月 29 日（土） ～10 月 30 日（日） 直前研修 & 検定試験	小原 宗一 疋田 恵子 栗木 梨衣	27 人
福岡会場 大野城市総合福祉センター			早瀬 昇 後藤麻理子 筒井のり子

<第 1・2 回 2 級検定 試験結果>

	大阪	東京	福岡	合計
受験者数	37 人	27 人	22 人	86 人
合格者数	31 人	15 人	18 人	64 人
合格率	83.8%	55.6%	81.8%	74.4%

③ボランティアコーディネーションカ3級検定試験の実施 2回（主催）

第1回（通算21回）：東京&大阪&福岡

＜第1回検定の実施＞（通算第21回）

開催地・会場	期 日	講 師	受験者
東京会場 飯田橋セントラルプラザ ＜共催：東京ボランティア・市民活動センター＞	6月25日（土） ・直前研修 ・検定試験	三田 響子 後藤麻理子	55人
大阪会場 大阪府社会福祉会館 ＜研修共催：大阪ボランティア協会＞		竹田 純子 岡村こず恵	50人
福岡会場 大野城市総合福祉センター ＜協力：大野城市社会福祉協議会＞		今村 晃章 加留部貴行	38人

試験結果	2016年度 第1回			合計
	東京	大阪	福岡	
受験者数	60人	50人	38人	148人
合格者数	51人	43人	31人	125人
合格率	85.0%	86.0%	81.6%	84.5%

＜第2回検定の実施＞（通算22回）

開催地・会場	期 日	講 師	受験者
東京会場 飯田橋セントラルプラザ ＜協力：東京ボランティア・市民活動センター＞	12月4日（日） ・直前研修 ・検定試験	土崎 雄祐 鹿住 貴之	84人
大阪会場 大阪府社会福祉会館 ＜研修共催：大阪ボランティア協会＞		岡村こず恵 青山 織衣	60人

試験結果	2016年度 第2回		合計
	東京	大阪	
受験者数	84人	60人	144人
合格者数	75人	54人	129人
合格率	89.3%	90.0%	89.6%

<共催検定> 9回

共催団体	期 日	講 師
①東京都社会福祉協議会 東京ボランティア・市民活動センター	6月25日(土) ※東京の主催検定と合同	三田 響子 後藤麻理子
②長野県社会福祉協議会	7月24日(日)	筒井のり子
③岡山県ボランティア・NPO活動支援センター 「ゆうあいセンター」	9月14日(水)	加留部貴行
④東北公益文科大学	9月19日(月・祝)	唐木理恵子
⑤名古屋学院大学		三田 響子
⑥福井県社会福祉協議会	9月28日(水)	上田 英司
⑦龍谷大学	10月15日(土)	筒井のり子
⑧公益財団法人とちぎYMCA	12月4日(日)	唐木理恵子
⑨静岡県社会福祉協議会	12月16日(金)	唐木理恵子

<共催検定 試験結果>

	①	②	③	④	⑤
受験者数	45人	39人	57人	39人	33人
合格者数	40人	28人	42人	37人	20人
合格率	88.9%	71.8%	73.7%	94.9%	60.6%

	⑥	⑦	⑧	⑨	合計
受験者数	19人	32人	47人	36人	347人
合格者数	19人	30人	43人	24人	283人
合格率	100%	93.6%	91.5%	66.7%	81.6%

④ボランティアコーディネーション力検定試験委員会の運営

«1級検定チームミーティングの開催»

回	期 日	会 場	参加人数
第1回	7月23日(土)	JVCA 事務所	4人
第2回	8月13日(土)	JVCA 事務所	4人
第3回	10月10日(月・祝)	JVCA 事務所	4人

«2級検定チームミーティングの開催»

回	期 日	会 場	参加人数
第1回	5月7日(土)	龍谷大学 大阪梅田キャンパス	6人
第2回	6月26日(日)	大谷大学	7人
第3回	7月2日(土)	大谷大学	7人
第4回	7月24日(日)	ユースビジョン (Flag 三条)	7人
第5回	9月4日(日)	大谷大学	6人
採点	11月13日(日)	龍谷大学 大阪梅田キャンパス	4人

≪ 3 級検定チームミーティングの開催 ≫

回	期 日	会 場	参加人数
第 1 回	1 月 17 日 (日)	J V C A 事務所	5 人
第 2 回	4 月 9 日 (土)	J V C A 事務所	5 人
第 3 回	6 月 11 日 (土)	J V C A 事務所	4 人
採 点	6 月 29 日 (水)	J V C A 事務所	2 人
採 点	7 月 30 日 (土)	J V C A 事務所	2 人
第 4 回	9 月 25 日 (日)	J V C A 事務所	4 人
採 点	10 月 18 日 (火)	J V C A 事務所	2 人
採 点	12 月 20 日 (火)	J V C A 事務所	3 人

・ボランティアコーディネーションカ検定試験委員会 ◎委員長 ○副委員長 ☆各級チームリーダー

No	委員名	所 属	担当
◎ 1	妻鹿ふみ子	東海大学	総括
☆ 2	小原 宗一	北区社会福祉協議会	1 級
3	杉澤 経子	東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター	1 級
4	疋田 恵子	杉並区社会福祉協議会	1 級
5	岩井 俊宗	とちぎユースサポーターズネットワーク	1 級
6	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会	1 級
○☆ 7	栗木 梨衣	愛知県国際交流協会	2 級
8	公文真理亜	北九州市社会福祉協議会	2 級
9	竹田 純子	龍谷大学 ボランティア・NPO 活動センター	2 級
10	垂井 加寿恵	神戸学院大学 ボランティア活動支援室	2 級
11	赤澤 清孝	ユースビジョン	2 級
12	濱屋 伸子	京都市国際交流協会	2 級
13	新堀 春輔	京都市環境保全活動推進協会	2 級
☆ 14	加留部貴行	九州大学	3 級
15	唐木理恵子	袖ワークス	3 級
16	上田 英司	N I C E	3 級
17	足立 陽子	首都大学東京 ボランティアセンター	3 級
18	三田 響子	相模原市社会福祉協議会	3 級

⑤『ボランティアコーディネーションカ 1 級検定テキスト』の改訂

⇒1 級検定テキストを修正・編集し、受験者へ送付した。

⑥『ボランティアコーディネーションカ 2 級検定サブテキスト』の改訂

⇒2 級検定サブテキストを修正・編集し、受験者へ送付した。

⑦検定合格者 (3 級・2 級) に対するメールマガジンの提供

(検定合格者向けプロジェクトチーム担当)

・3 級ホルダー通信 4 号 発行日：5 月 11 日

・2 級ホルダー通信 4 号 発行日：5 月 12 日

⑧ 1級・2級検定合格者フォローアップ研修の開催

全国ボランティアコーディネーター研究集会 2016（横浜）の前日企画として、「ボランティアコーディネーション力検定 1・2 級合格者の集い」を企画し、実施した。

タイトル	期日・会場	企画・ホスト	参加者
ボランティアコーディネーション力検定 1・2 級合格者の集い	3月4日（金） 19:00～23:30 横浜市社会福祉協議会 ボランティアセンター	早瀬 昇 竹田 純子 永井 美佳 三田 響子 長谷部 治 河合 将生	15人

（４）情報の収集及び提供活動の推進

① メールマガジン（会員向け）の発行（月1回）

めるまが Co☆Co☆Net 第128号～第139号の発信（12回）

② J V C A公式 Facebook の運営

WEB委員会を中心に運営委員や事務局が交代で記事を掲載した。

③ JVCAリーフレットの増刷

3つ折りタイプのリーフレットに代わり、A4判両面カラー刷りのJVCA紹介と会員加入促進チラシを作成した。 3,000部

④ WEBサイトの充実

団体に関わる基本情報、等の修正個所の確認、年度更新情報を修正した。
熊本（大分）地震における地震災害のボランティアコーディネーションに携わる人へのメッセージを作成し、掲載した。

⑤ ボランティアコーディネーター『グッドプラクティス事例集』の発行

編集チーム（筒井のり子、岩井俊宗、土屋 環、後藤麻理子）を設置し、作成にあたった『グッドプラクティス事例集 Vol.1 ボランティアコーディネーションのツボがわかる』を発行した。 500部

⑥ ボランティアコーディネーションに関する図書・文献情報の収集

WEBサイトへの掲載情報についてはとくに追加なし

⑦ 雑誌・新聞などへの寄稿 など ⇒なし

⑧ 個別相談への対応

・会員メーリングリストによる会員相互の相談助言活動の促進

悩み相談、意見発信、問題提起、情報交換など、会員メーリングリストに寄せられる相談を通して会員同士のコミュニケーションを促進した。 利用件数 232件

⑨ ボランティアコーディネーションについての普及啓発

JVCA の PR、ボランティアコーディネーター基本指針、ご存知ですか？ボランティアコーディネーター（ポスター）の配付など、通常の情報提供を継続した。

<相談・問い合わせ件数> 事務局(事務所)に入った電話、Eメール、FAX等での相談、問い合わせ、事業・サービスに関する連絡などに対応した。 1,438 件

内 容	件数	内 容	件数
ボランティアコーディネーションに関すること	53	会員データ変更・退会	55
ボランティア活動に関すること	19	会費納入	44
研修講師相談・依頼・手続き・調整	439	事業協力・後援依頼	12
主催研修の日程／内容	34	関係(者)団体連絡先照会	2
JVCCに関すること	171	ボランティアコーディネーション力検定	488
図書購入・照会	27	震災関連	10
取 材	10	その他	55
入会についての問合せ	19	合 計	1,438

(5) 広報紙および出版物の発行

① ニュースレター『Co★Co★Net』の発行 年3回（発行月：4月、8月、12月）

Co★Co★Net 第47号 4月30日発行 500部

特集：全国ボランティアコーディネーター研究集会（JVCC）2016〔横浜〕から

Co★Co★Net 第48号 8月10日発行 500部

特集：熊本地震とボランティアコーディネーション

Co★Co★Net 第49号 12月8日発行 500部

特集：2級検定合格者アンケートから

再掲② ボランティアコーディネーションカ1級検定テキストの発行

⇒改訂版 50部 7月20日発行 B5判 133頁

再掲③ ボランティアコーディネーションカ2級検定テキストの発行

⇒改訂版 110部 6月5日発行 B5判 160頁

(6) 調査・研究活動の推進

① J V C A 認定ボランティアコーディネーターシステムの開発

「認定ボランティアコーディネーターシステム研究会」は日程などが整わず、開催できなかった。

No	メンバー	所 属
1	筒井のり子	龍谷大学
2	妻鹿ふみ子	東海大学
3	杉澤 経子	東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター
4 (事務局)	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会

②「検定・認定システム化検討委員会」の継続

No	委員名	所 属	◎委員長	○副委員長
◎ 1	筒井のり子	龍谷大学		
○2	栗木 梨衣	愛知県国際交流協会		
3	杉澤 経子	東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター		
4	小原 宗一	北区社会福祉協議会		
5	早瀬 昇	大阪ボランティア協会		
6	竹田 純子	龍谷大学 ボランティア・NPO活動センター		
7	赤澤 清孝	ユースビジョン		
8	岩井 俊宗	とちぎユースサポーターズネットワーク		
9	上田 英司	N I C E		
10	沼田 多美	ブリッジフォースマイル (サポーター)		
11	門馬 優	TEDIC		
12	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会		

<委員会の開催>

回	期 日	会 場	参加人数
第 71 回	3 月 27 日 (日)	J V C A 事務所	6 人
第 72 回	5 月 15 日 (日)	J V C A 事務所	6 人
第 73 回	6 月 20 日 (月)	J V C A 事務所	7 人
第 74 回	7 月 3 日 (日)	キャンパスプラザ京都	5 人
第 75 回	8 月 17 日 (水)	J V C A 事務所	6 人
第 76 回	12 月 4 日 (日)	J V C A 事務所	7 人

③「検定・認定プロモーション委員会」の継続

検定システムの普及や、専門職としてのボランティアコーディネーターの社会的・組織的認知を向上させるための方策を検討する。⇒会議開催はなし

No	委員名	所 属	◎委員長
◎ 1	早瀬 昇	日本NPOセンター	
2	永井 美佳	大阪ボランティア協会	
3	長谷部 治	神戸市中央区社会福祉協議会	
4	竹田 純子	龍谷大学 ボランティア・NPO活動センター	
5	河合 将生	NPO 組織基盤強化コンサルタント office musubime	

④実務者向けボランティアコーディネーター研修体系の検討と試行

研修開発委員会を中心にボランティアコーディネーションの実務者向けの研修体系を検討した。委員会は2の(4)②に記載

⑤その他、社会情勢に応じた情報収集と提供

・介護保険改正等の動きを受け、生活支援コーディネーターなどの地域でのコーディネーショ

ンを担う人たち向けのハンドブック作成の準備を行った。

- ・熊本県、大分県における地震災害のボランティアコーディネーションに携わるみなさまへ、というタイトルで災害支援にあたるボランティアコーディネーターへ留意条項を伝えるメッセージをWEBサイトで発信した。

(7) ボランティアコーディネーターの交流の促進

① C o C o サロンの開催状況

日程	地域/分野	会場	人数	主な内容
1月27日 (水)	北九州 Link 福祉施設	生き方のデザイン 研究所	6人	長沼豊氏著「人が集まるボランティア組織をどうつくるのか」の読み合わせとディスカッションを行うとともに、参加者同士の情報交換を行った。
3月12日 (土)	北九州 Link 福祉施設	北九州市立小倉 南障害者地域活動センター	25人	小原宗一氏を招き、地元の障害者施設と共催でボランティアマネジメントの基礎的な研修を開催した。
3月13日 (日)	北九州 Link 福祉施設	生き方のデザイン 研究所	5人	前日の研修講師：小原宗一氏とともに、JVCC2016 横浜で得た情報や感想をフリートークした。
5月25日 (水)	北九州 Link 福祉施設	生き方のデザイン 研究所	6人	熊本・大分地震の支援活動についての情報交換を行った。全国ボランティアコーディネーター研究集会 2017 の進捗状況についても共有した。
5月28日 (土)	関西	龍谷大学 大阪梅田 キャンパス	17人	長谷部治氏を講師に熊本・大分地震におけるボランティアコーディネーションの状況についての考え方を学ぶとともに、支援活動についての情報交換を行った。
6月24日 (金)	とちぎ	宇都宮大学	6人	グッドプラクティス事例集の執筆者：岩井俊宗氏をゲストスピーカーに、包括的なボランティアコーディネーション実践について学んだ。
6月26日 (日)	関西	龍谷大学 大阪梅田 キャンパス	24人	グッドプラクティス事例集の執筆者：長谷部治氏と大野真太郎氏をゲストスピーカーに、筒井のり子氏をコメンテーターに、包括的なボランティアコーディネーション実践について学んだ。
7月27日 (水)	北九州 Link 福祉施設	生き方のデザイン 研究所	6人	JVCC2017 実行委員より JVCA, JVCC の成り立ち紹介。グッドプラクティス事例集より事例を1つ選んで、意見交換を行った。

9月23日 (金)	福島	肉バル Nico パティオ	4人	翌日の講師で赴いた三田響子氏と地元会員の呼びかけで食事会を開催し、最近の避難者の状況と支援の課題を共有し、交流を深めた。
9月28日 (水)	北九州 Link 福祉施設	生き方のデザイン 研究所	9人	JVCC2017 の分科会とボランティアコーディネーションカ 2 級検定福岡会場の紹介。参加者の近況報告から障害者の外出支援・認知症高齢者支援の中で「虐待」に関連するケースについて意見交換を行った。
10月26日 (水)	庄内	楽家 (らくや)	10人	ふたり一組で他己紹介の後、CoCo サロン庄内のこれからについて等々なごやかに話し合った。終了後、手作りの料理で懇親会を行った。
11月14日 (月)	阿見 (茨城)	カフェ& ダイニングバー 「ゴラッソ」	6人	後藤麻理子氏とともに飲食しながら会話を楽しみ、JVCA に入ったきっかけや動機を聞いたり、コーディネーターとしてのやりがいや人脈等々について語り合った。
11月27日 (日)	神奈川	こなひきじい	10人	JVCC2016 実行委員会の同窓会として呼びかけ、皆で報告書を読んで振り返り、場所を変えての懇親会を行った。
11月28日 (月)	庄内 (山形)	楽家 (らくや)	16人	後藤麻理子氏をゲストに招き、ボランティアコーディネーションのいまを話題提供した後、ディスカッションを行った。その後、手作り料理で懇親会を実施した。
11月30日 (水)	北九州 Link 福祉施設	生き方のデザイン 研究所	8人	初参加の方への歓迎オリエンテーション。福祉施設のボランティア受け入れに関する相談を事例に意見交換。JVCC2017 分科会の紹介などを行った。
12月5日 (月)	とちぎ	ハーブ&カフェ FUTAMI	20人	加留部貴行氏と楽しく語らおう！をテーマに、ボランティアコーディネーションやファシリテーションに関するよもやま話で盛り上がった。
12月13日 (火)	岐阜	古風人	4人	加留部貴行氏をゲストに、熊本地震への支援、JVCCC2017、子どもの貧困のことなど、さまざまな話題を語らった。
12月15日 (木)	みえ	つぼ八津駅前店	6人	筒井のり子氏と戸田千登美氏をゲストに迎えて、参加者の最近の状況についての報告とディスカッションを行った。
12月20日 (火)	庄内	楽家 (らくや)	5人	「今年1年をふりかえる」をテーマに、参加者それぞれの一年をふりかえり、その後ゆるやかにごやかに情報交換を行った。

C o C o サロンについては隔月で定期開催をしている〈北九州 Link 福祉施設〉、10 月から毎月開催している〈庄内〉をはじめ、グッドプラクティス事例集を使った学習会や、研修で講師が赴いた機会に合わせた懇親会など、昨年と比較しても 2 倍近い 19 回の開催があり、会員の自主的な交流活動が活発化した。

②国内外の関係団体との連携

国内外の関係団体とボランティアコーディネーションの普及促進に関連する事業に後援ならびに協力し、連携を深めている。

- ・「広がれボランティアの輪」連絡会議への参加
 - 幹事会への参加
 - ボランティア全国フォーラム企画委員会への参加
- ・東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）への参加
- ・他団体が実施（主催）する委員会等への協力、参加（委員委嘱）
 - i) 東京都中央区地域振興課：中央区協働推進会議 委員
 - ii) 全国社会福祉協議会：全国ボランティア・市民活動振興センター運営委員会
 - iii) 日本 N P O センター：評議員
 - iv) 瑞穂町社会福祉協議会：ボランティアセンター運営委員会アドバイザー
 - v) 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議 委員
 - vi) キリン福祉財団：助成金選考委員
 - vii) 日本 N P O センター：東日本大震災復興支援 JT N P O 応援プロジェクト選考委員
 - viii) よこはま地域福祉研究センター：アドバイザーボードメンバー
 - ix) チャリティホワイト新規プロジェクト：選出委員
 - x) 東京ボランティア・市民活動センター：中間支援組織スタッフの支援力アップ塾企画・評価委員
 - xi) 日本 N P O センター：知っておきたい N P O のこと（参加編）編集委員
 - xii) 東京都生活文化局：共助社会づくりを進めるための検討会 委員
 - xiii) シャプラニール：評議員
- ・後援（名義使用の許可）
 - i) 日本精神保健福祉士協会全国大会／日本精神保健福祉士学会学術集会：日本精神保健福祉士協会
 - ii) ファンドレイジング・日本（FRJ2016）：日本ファンドレイジング協会
 - iii) 社会貢献教育オープンシンポジウム 2017：日本ファンドレイジング協会

■ 2 組織運営と財政

(1) 通常総会 2016年3月6日 横浜市内にて開催。提出した議案はすべて承認された。

正会員数 361人 定足数 181人

出席者数 227人 (会場41人、意思表示88人、委任98人)

審議結果 第1号議案 2015年度事業報告案ならびに決算案について
 第2号議案 2016年度事業計画案ならびに予算案について
 第3号議案 第9期 役員体制について

(2) 理事会 4回開催 (2月、4月、7月、12月)

第9期 特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会 理事名簿
 (2016年4月1日～2018年3月31日)

No.	氏名	所属先	地域
1	赤澤 清孝	特定非営利活動法人ユースビジョン	京都
2	鵜尾 雅隆	特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会	東京
3	鹿住 貴之	認定特定非営利活動法人 JUON (樹恩) NETWORK	東京
4	唐木 理恵子	紬ワークス	東京
5	加留部 貴行	九州大学	福岡
6	栗木 梨衣	公益財団法人愛知県国際交流協会	愛知
7	後藤 麻理子	認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会	東京
8	斉藤 悦子	特定非営利活動法人日本病院ボランティア協会	北海道
9	塩澤 達俊	社会福祉法人とちぎYMCA福祉会	栃木
10	西川 正	認定特定非営利活動法人ハンズオン! 埼玉	埼玉
11	野尻 紀恵	日本福祉大学	愛知
12	長谷部 治	社会福祉法人神戸市兵庫区社会福祉協議会	兵庫
13	早瀬 昇	社会福祉法人大阪ボランティア協会/日本NPOセンター	大阪
14	疋田 恵子	社会福祉法人杉並区社会福祉協議会	東京
15	妻鹿 ふみ子	東海大学	神奈川

理事会の開催（計画：4回）

回	日程	会場	出席	審議事項
第54回	2月7日 (日)	龍谷大学 大阪梅田キャンパス	13人	第1号議案 2015年度事業報告・決算案 第2号議案 2016年度事業計画・予算案 第3号議案 第9期役員体制 第4号議案 2016年度運営委員選考委員 の選出
第55回	4月3日 (日)	喫茶室ルノアール 四谷店 会議室	15人	第1号議案 正副代表理事の互選 第2号議案 担当理事制の変更 (追加)
第56回	7月10日 (日)	ユースビジョン会議室 (Flag 三条)	15人	第1号議案 2016年度の上半期事業の進 捗と予算執行状況
第57回	12月17日 (土)	飯田橋 セントラルプラザ	14人	第1号議案 2017年度 事業計画案 第2号議案 2017年度 暫定予算案 第3号議案 就業規則の改定 第4号議案 賃金規程の改定 第5号議案 特定個人情報の適正な取扱い に関する基本方針および特定 個人情報取扱規程の制定

第55回理事会において第9期の正副代表理事を互選した。その結果、代表には唐木理恵子理事、副代表には早瀬昇理事、鶴尾雅隆理事（代表理事の代行順）が選任された。

(3) 監事監査

2015年度の事業執行についての監事監査を実施した。

日時 2016年 1月30日（土） 場所 J V C A事務所

監 事

No.	氏名	所属	地域
1	安藤 雄太	東京ボランティア・市民活動センターアドバイザー	東京
2	内野 恵美	内野公認会計士事務所	東京

(4) 委員会

3月22日（火）に2016年度運営委員選考委員会を開催した。この結果をもとに次期（4月～翌年3月）の運営委員メンバーを代表理事に諮問し、応募者全員が任命された。

4月の運営委員会において、運営委員長に上田英司、副運営委員長に三田響子、西 誠を選任した。

①運営委員会の設置 (計画：月1回・12回)

2016年度運営委員体制(2016.4-2017.3)

※所属は2016年末現在

NO	氏名	地域	所属
1	岩浪 武司	山形	特定非営利活動法人ぼらんたす
2	栗原 穂子	山形	特定非営利活動法人ぼらんたす
3	土崎 雄祐	栃木	宇都宮大学
4	足立 陽子	東京	首都大学東京 ボランティアセンター
5	阿部陽一郎	東京	中央共同募金会
6	飯塚 和幸	東京	西東京市社会福祉協議会
7	上田 英司	東京	特定非営利活動法人 NICE
8	唐木理恵子	東京	紬ワークス
9	鹿住 貴之	東京	認定特定非営利活動法人 JUON (樹恩) NETWORK
10	熊谷 紀良	東京	東京都社会福祉協議会
11	後藤麻理子	東京	認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会
12	城 千聡	東京	MS&AD インシュアランスグループホールディングス株式会社
13	疋田 恵子	東京	杉並区社会福祉協議会
14	倉本 泰孝	神奈川	葉山町社会福祉協議会
15	仲丸 等	神奈川	横浜市戸塚区社会福祉協議会
16	三田 響子	神奈川	相模原市社会福祉協議会
17	戸田千登美	長野	長野県長寿社会開発センター
18	田中 利昌	愛知	名古屋市市民活動推進センター
19	筒井のり子	滋賀	龍谷大学
20	西 誠	京都	佛教大学
21	青山 織衣	大阪	岸和田市社会福祉協議会
22	椎名 保友	大阪	特定非営利活動法人日常生活支援ネットワーク
23	早瀬 昇	大阪	大阪ボランティア協会/日本 NPO センター
24	高宮城亜矢香	大阪	大阪ボランティア協会
25	杉浦 健	兵庫	共働プラットフォーム
26	橋口 文博	兵庫	特定非営利活動法人じゅうしん神戸
27	加留部貴行	福岡	九州大学

・運営委員会の開催

回	日程	会場	出席
第1回	1月24日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス	10人
第2回	2月20日(土)	プロミス渋谷お客様サービスプラザ	14人
第3回	3月26日(土)	龍谷大学大阪梅田キャンパス	7人
第4回	4月29日(金・祝)	北とぴあ(東京)	16人
第5回	5月28日(土)	龍谷大学大阪梅田キャンパス	8人
第6回	6月12日(日)	国立オリンピック記念青少年総合センター	14人

第7回	7月3日(日)	キャンパスプラザ京都	10人
第8回	8月7日(日)	湯の里木もれび研修室(おごと温泉)	20人+理事2人
第9回	9月7日(土)	東京ボランティア・市民活動センター	8人
第10回	10月2日(日)	大野城市総合福祉センター	12人
第11回	11月12日(土)	龍谷大学大阪梅田キャンパス	10人
第12回	12月3日(土)	東京ボランティア・市民活動センター	15人

②各種委員会の運営

各種事業の進行管理を担い、事業推進と組織運営への会員参加を進めるため、理事、運営委員、一般会員の参加で以下の委員会を設置し、推進する。

(活動実績は会議開催を掲載)

- i) 研修開発委員会 …基礎研修等やファシリテーション講座等の調整、準備、実施、実務研修体系づくり

■メンバー:後藤麻理子、小原宗一、加留部貴行、筒井のり子、倉本泰孝

回	日程	会場
第1回	12月24日(土)	JVCA事務所

- ii) JVCC企画委員会 …全国ボランティアコーディネーター研究集会2017実行委員会への参加、JVCC2018の開催地検討・調整

■メンバー:三田響子、唐木理恵子、土崎雄祐、杉浦健 /2017開催地:加留部貴行
会議開催なし。JVCC2017実行委員会へ交代で出席

- iii) 財政委員会 …財政シミュレーションと具体的な財源強化対策、事業計画にもとづく活動予算の作成

■メンバー:早瀬昇、鹿住貴之、阿部陽一郎、鶴尾雅隆、飯塚和幸、土崎雄祐

回	日程	会場
第1回	1月23日(土)	JVCA事務所
第2回	4月29日(祝・金)	PRONTO王子店
第3回	6月12日(日)	Cafeルノアール 新宿京王モール店
第4回	8月4日(木)	JVCA事務所
第5回	11月24日(月)	JVCA事務所

- iv) WEB委員会 …JVCA公式facebookの運営、JVCAのWEBサイトの改善、メンテナンス

■メンバー:西誠、高宮城亜矢香、足立陽子、橋口文博、城千聡

会議開催なし。Facebook・電話のクローズなグループを使つての協議。事務局との打ち合わせを2回行った。

- v) 地域プロモーション委員会…会員獲得のための戦略的なアプローチ、重点地域や事業とのリンク、課題ごとの会員ミーティングの実施

■メンバー：加留部貴行、熊谷紀良、岩浪武司、栗原穂子、青山織衣

回	日程	会場
第1回	12月3日(土)	東京ボランティア・市民活動センター
※C o C oサロンプロジェクトチームとの合同開催		

③専門委員会の設置、運営

- i) 検定・認定システム化検討委員会(継続) ⇒「事業の推進(6)」に記載
- ii) 検定試験委員会(継続) ⇒「事業の推進(3)」に記載
- iii) 検定・認定プロモーション委員会(継続) ⇒「事業の推進(6)」に記載
- iv) 認定ボランティアコーディネーターシステム研究会(継続) ⇒「事業の推進(6)」に記載

④プロジェクトチームの運営

各種委員会の他に、必要に応じて各種チームを構成し、事業の進行を図った。

- i) C o C oサロンプロジェクトチーム ココサロンの開催呼びかけ、運営支援
(足田恵子、仲丸 等、戸田千登美)
⇒12月3日に地域プロモーション委員会との合同会議を開催した。
- ii) 検定合格者向けプロジェクトチーム 合格者向けメールマガジンの作成、発信
(田中利昌、足田恵子、三田響子)
⇒「事業の推進(3)」に記載
- iii) グッドプラクティス事例集編集チーム 事例集の編集
(筒井のり子、岩井俊宗、土屋 環、後藤麻理子)
⇒事例集VOL.1を発行
- iv) 生活支援サービス開発とボランティアコーディネーション編集チーム
(小原宗一、井岡仁志、足田恵子)
⇒企画・編集中
- v) 労務改善プロジェクトチーム
⇒(5)-②に記述

(5) 会員拡大および会員サービスの充実

①顧客・支援者データベースの構築

Salesforce の導入により、統合した顧客データベースの活用を検討した。

②会員拡大に関する取り組み

- ・ボランティアコーディネーション力検定合格者に対し、JVCC2016参加と入会の案内を行った。

- ・主催研修ならびに講師派遣研修において会員勧誘のチラシを配布した。
- ・J V C C 参加申込みの際に簡易な手続きで入会できるように W E B 上の申込フォームに「会員になる」という項目を加え、入会を促した。

③会費納入率の向上

会費の納入願いについては郵送によるものともにメールによる依頼を合わせて行った。

④会員継続への働きかけの強化

多忙な会員のために会費納入方法についてクレジット決済があることを周知した。

⑤賛助会員（個人）の拡大

会費の支払が長期に滞っている正会員・準会員への納入依頼の際に、選択肢として賛助会員制度を紹介するなどの働きかけを行った。

<会員数>

会員種別	2014 年度末	2015 年度末	2016 年度末
正会員	377人	378人	371人
準会員	41人	39人	44人
賛助会員（個人）	38人	43人	56人
賛助会員（団体）	9団体	10団体	8団体
合計	465人・団体	470人・団体	479人・団体

（6）事務局運営の充実

①事務局担当理事の設置とスーパービジョンの実施

4月の理事会において塩澤達俊氏を選任した。

②労務改善プロジェクトチームの設置

4月の理事会ならびに5月の運営委員会においてメンバーを選任した。

早瀬 昇、阿部陽一郎、上田英司、鹿住貴之、疋田恵子

回	日程	会場
第1回	6月17日（金）	J V C A 事務所
第2回	8月3日（水）	新霞が関ビル

③職員採用

専任職員の退職に伴い職員の公募を行い、5月10日付で常勤嘱託として石井大輔を採用した。8月からは本人の意向により週3日の非常勤に雇用形態を変更し、12月末をもって雇用期間満了により退職した。

次年度の職員を確保するために、10月下旬に職員公募を行い、書類審査、面接試験を経て、2017年1月1日付の採用者を1名内定した。

(7) 財源の確保と財政運営

①会費収入の拡大

会員拡大策について財政委員会を中心に検討し、JVCC2016 の会場などで会員勧誘のアクションを行った。

②事業収益の拡大

検定受験者の確保に努めた ⇒ 6月の3級検定は予算積算上の目標値をほぼ達成した。

また、共催検定については年間計画の件数に達した。

講師派遣先を開拓する ⇒ 講師派遣・紹介チラシの配付を関係機関に行った。

③寄付者の拡大 ⇒ 下半期にキャンペーンを実施予定

④助成金、委託事業などの活用

・助成金の申請： 全国ボランティアコーディネーター研究集会 2017 を開催する費用について、独立行政法人福祉医療機構（WAM）の助成を申請したが、不採択となった。

・gooddoの支援者拡大

自分の応援したい社会貢献団体（NPO/NGO）を、誰でも、簡単に応援することができるソーシャルプラットフォーム [gooddo] への協力を求め、支援額を確保した。

<支援金確定額>

月	合計	クリック・シェア	いいね！・商品購入
2015年10月	15,165円	13,631円	1,534円
11月	17,840円	17,133円	707円
12月	14,530円	13,692円	838円
2016年1月	27,218円	26,886円	332円
2月	21,068円	19,960円	1,108円
3月	14,614円	13,372円	1,242円
4月	14,000円	13,491円	509円
5月	20,481円	19,919円	562円
6月	23,677円	22,723円	954円
7月	20,368円	19,527円	841円
8月	13,560円	13,025円	535円
9月	16,930円	16,235円	695円
本年度分 合計	219,451円	209,594円	9,857円
10月	21,536円	19,494円	2,042円
11月	14,346円	13,009円	1,337円
12月	27,980円	25,936円	2,044円

⑤「おサイフ通信」の発行 第6号 4月30日 配信

第7号 12月22日 配信

2016年 寄付者名簿

～ご協力ありがとうございました～

赤石 千秋	加留部 貴行	土崎 雄祐	三田 響子
足立 貴義	菊池 浩史	筒井 のり子	村上 直美
阿南 健太郎	北川 果奈	中川 朋子	村上 裕
穴見 千佳	熊谷 紀良	長沼 豊	森坂 尚子
安藤 亜樹子	倉本 泰孝	仲丸 等	山崎 智文
飯塚 和幸	栗木 克人	縄田 三千代	山地 晴義
石川 千種	古賀 和広	丹羽 みどり	和田 好穂
石川 到覚	小谷 広幸	濱屋 伸子	
岩下 広和	後藤 麻理子	早瀬 耕弘	匿名 5人
鵜尾 雅隆	佐藤 正子	早瀬 智啓	
江森 謙太郎	佐藤 茂雄	早瀬 昇	
遠藤 沙穂里	澤田 奈男	早瀬 美和	
岡野 正和	清水 由子	疋田 恵子	
岡村 こず恵	城 千聡	疋田 淑子	
岡村 公一	杉浦 健	福本 滋	
海土 美雪	杉澤 経子	福本 寅一	
鹿住 泰久	鈴木 孝芳	福本 久子	
桂 誠一	鈴木 盈宏	正木 顕	
鎌北 郁子	田中 徹治	増井 治夫	
唐木 理恵子	田中 利昌	松本 貴久	計 72人